サブテレニアン主催

# 板橋ビューネ2014

## 《公募参加団体》
## 2014年度募集要項・応募用紙

板橋ビューネは、実験的・未完成的な舞台芸術の創造とそのプロセスを失わないために、アーティストによって発案され、アーティストによって運営されています。下記プログラムにおいて、2014年10月に行われる演劇祭に出展する作品を公募いたします。
皆様のご応募お待ちしております。

《目次》

■板橋ビューネ2014について・・・・・・・・p. 2
■プログラム概要・・・・・・・・・・・・・・・p. 3
■応募・締切のスケジュール・・・・・・・・・p. 4
■応募に際しての注意事項・参加条件・・・・p. 4
■応募から決定まで・・・・・・・・・・・・・p. 4
■実行委員会について・・・・・・・・・・・・p. 5
■サブテレニアンについて・・・・・・・・・・p. 6
■お問い合わせ・アクセス・・・・・・・・・・p. 7
■応募用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・p. 8-9

＊なお、ご応募は下記まで郵送でお願いいたします。連絡先は劇場と兼用ですので、お電話・メールでの連絡の際には「板橋ビューネについて」と分かるように一言仰っていただけるとスムースです。

《連絡先》
080-4205-1050 (赤井)
info@subterranean.jp
〒173-0013東京都板橋区氷川町46-4 B1F サブテレニアン
「板橋ビューネ」宛

今年もサブテレニアンが、フェスティバルをやります。このフェスティバルの参加条件は「古典の上演」です。既存のテキストを用いて、新しい解釈・演技・演出によって古典の魅力を引き出すことが目的です。

芸術に必要な独創性や個性といったものは、果たして舞台芸術にとって何を意味するのでしょうか。果たして、テキストの「独創性」だけが舞台芸術の“新しさ”なのでしょうか。私たちは少し遡って、俳優と観客が演劇を形作るという課題に立ち返ってみたいと思います。誰もが知っている古典を取り扱うことで、舞台芸術にとって最も重要な要素——俳優と観客——が創造するフェスティバルを目指したいと思います。

上演は常に現在地点でしか行われません。「古典」は、「古典」として読まれるだけでは同時代性を持ってはいません。それが上演され、息を吹きかけられ、新しい解釈を得ることで同時代性を手にすることができます。私たちは決して、歴史を抜きにして「イマココ」を理解することはできませんから、「古典」に触れることで初めて現代性を獲得することができるのだと思います。テキストは単なる読み物ではなく、俳優と観客の間で育まれるべきものです。その意味で、舞台芸術は常に未完成的であり、生成的であり、未熟な芸術なのでしょう。それは、大規模な劇場であっても、私たちのような小規模な劇場であっても同じことです。

サブテレニアンは決して恵まれた劇場ではありません。不便な部分もあると思います。しかしそれを不便と考えず、魅力と感じる方を求めます。そしてそういう場所でやるからには漫然とした作品はいりません。先鋭的な作品を求めます。

また今年は2都市で開催します。さらに韓国から招聘劇団もあります。私たちは、新しい演劇を作る担い手と、その観客を求めています。私たちは、皆様に対して開いていきたいと思います。

是非、板橋ビューネ2014にご応募いただければ幸いです。

板橋ビューネ実行委員会

## プログラム概要

【フェスティバルのテーマ】
イプセン以前あるいはそれに準じる作家の作品
ー演劇においてはイプセンから近代主義および自然主義運動が始まるので、それを含まない時代を考えています。数字で言えば1879年（「人形の家」が出版された年）より前、になるのですが、国や地域によって、近代の成立の時期は違うので、年代は厳密ではありません。ー

【スケジュール（予定）】
東京公演：2014年10月8日〜13日　サブテレニアン(http://subterranean.jp)
名古屋公演：2014年10月18日〜19日　七ツ寺共同スタジオ(http://nanatsudera.org)
※基本的に東京、名古屋いずれかの参加となります。
【参加団体】6〜8団体
【上演形式】（予定）2団体連続上演／対面式客席

キャパ：48席（各公演毎数席は関係者及び批評家・レビュワー用の座席を用意します）
客席：対面式を予定
上演時間：45分から60分程度が望ましい
チケット（予定）：2,000円（前売）／5,000円（通し券）

【制作費】
**参加が決定した各団体に制作費として30,000円支給します。**
※売り上げの参加団体への分配はありません。
※ノルマ、劇場費の負担はありません。

舞台図面
（下記URLよりダウンロードいただけます）
サブテレニアン　http://subterranean.jp/guide.html
七ツ寺共同スタジオ　http://nanatsudera.org/index.cgi?field=21

## 応募・締切のスケジュール

・5月20日※消印有効

## 応募に際しての注意事項・参加条件　(2014.03.26ver.)

《上演について》

・上演時間は45〜60分程度です。

《舞台・スタッフ周りについて》

・音響、照明スタッフは基本的にフェスティバルが用意します。難しいオペレーションなどを希望される場合には、参加団体自身でスタッフを派遣していただくようお願いいたします。

《楽屋について》

・基本的には、他上演劇団の演目を観劇いただければ幸いです。

《制作周りについて》

・演劇祭を運営する受付、会場整理スタッフを各劇団から最低一名出していただくようお願いします。

《運営について》

・メーリングリストへの参加をお願いいたします。

・不定期で行われる実行委員会にもご参加いただければ幸いです。

## 応募から決定まで

①応募準備

・応募用紙にご記入ください。

・過去公演のチラシ、上演DVDなどがあれば、ご用意ください。

②応募（締切：5月20日消印有効）

・資料を郵送にてご応募ください。（メールにての申請は受け付けません）

③面接（5月末から6月初旬。可能な限り全員行います）

・面接日時場所を決定した上で、面接を行います。

④決定（6月上旬）

・参加の可否を決定した旨、ご連絡いたします。連絡は全員にお送りいたします。

《応募・資料郵送先》
info@subterranean.jp
〒173-0013東京都板橋区氷川町46-4 B1F
サブテレニアン「板橋ビューネ」宛

## 実行委員会について

板橋ビューネは、実行委員会によって運営されています。

現在、実行委員会の会員は、

・赤井康弘（サイマル演劇団）
・長堀博士（楽園王）
・よこたたかお（ＮＵＤＯ）

です。

会は、不定期で行われています。この委員会には、参加する団体の関係者全ての人が参加することができます。詳しくは、メーリングリストより委員会の開催時期、内容などをご確認ください。

メーリングリストについて

板橋ビューネにご参加いただけるカンパニーより最低一名以上、下記メーリングリストに加入いただきます。事務的な連絡などはこちらで行います。登録につきましては、こちらから招待を送りますので、登録手続きを行っていただく形になります。

## 各種資料ダウンロード

――サブテレニアン平面図（ＰＤＦ）

http://subterranean.jp/heimensubte.pdf
――サブテレニアン バトン・回路図（ＰＤＦ）

http://subterranean.jp/batonkairo.pdf
――サブテレニアン備品リスト（ＨＴＭＬ）

http://subterranean.jp/bihina.html
――板橋ビューネ2013応募資料（ＤＯＣ）

https://docs.google.com/file/d/0B2NOneafzjkGbF9XRUh5cElEVVU/edit?usp=sharing

## サブテレニアンについて

SUBTERRANEAN は客席数40〜50名の演劇、ダンス、トークイベントなどでお使いいただける小屋です。

自主企画の公演やロングラン公演、建て込み稽古からそのまま本番での使用、公開稽古等、ほかの劇場では難しいこともSUBTERRANEANでは可能です。

決して広くはない小屋ですが、皆様の溢れるアイディアを形にして下さい。

"Subterranean" は"地下の"という意味です。

ジャック・ケルアックの小説"The Subterraneans"からとりました。

日常からはこぼれ落ちて、埋もれてしまうようなアイディアや企画を 発表できる場でありたいと願っています。

## 主な事業

●劇場運営

都内でも有数の価格帯で、これまで若手のカンパニーに多くご利用いただいています。

——仕込・本番：25,000円／１日(9-23時）、設備使用料：5,000円／１日(9-23時）

（一部追加料金あり）

●演劇祭「板橋ビューネ」主催

年に一回、演劇祭を開催します。

●提携公演の実施

劇場が支援する形で劇団と提携して、新作の上演を行っております。

●「マージナル・マン」プログラムの実施

ジャンル越境型のプログラムに対して、特別料金にて会場を利用することが出来るプログラムを始めました。詳細は劇場ウェブサイトをご覧ください。

●別冊サブテレニアンの発行

不定期で「別冊サブテレニアン」というフリーペーパーを発行しております。

※これまでのインタビュー掲載例

橋本清（ブルーノプロデュース）、劇団満塁鳥王一座、白鳥英一（OtoO Presents）、石神夏希（ペピン結構設計）、生田恵（三角フラスコ）、荻野欣士郎監督など

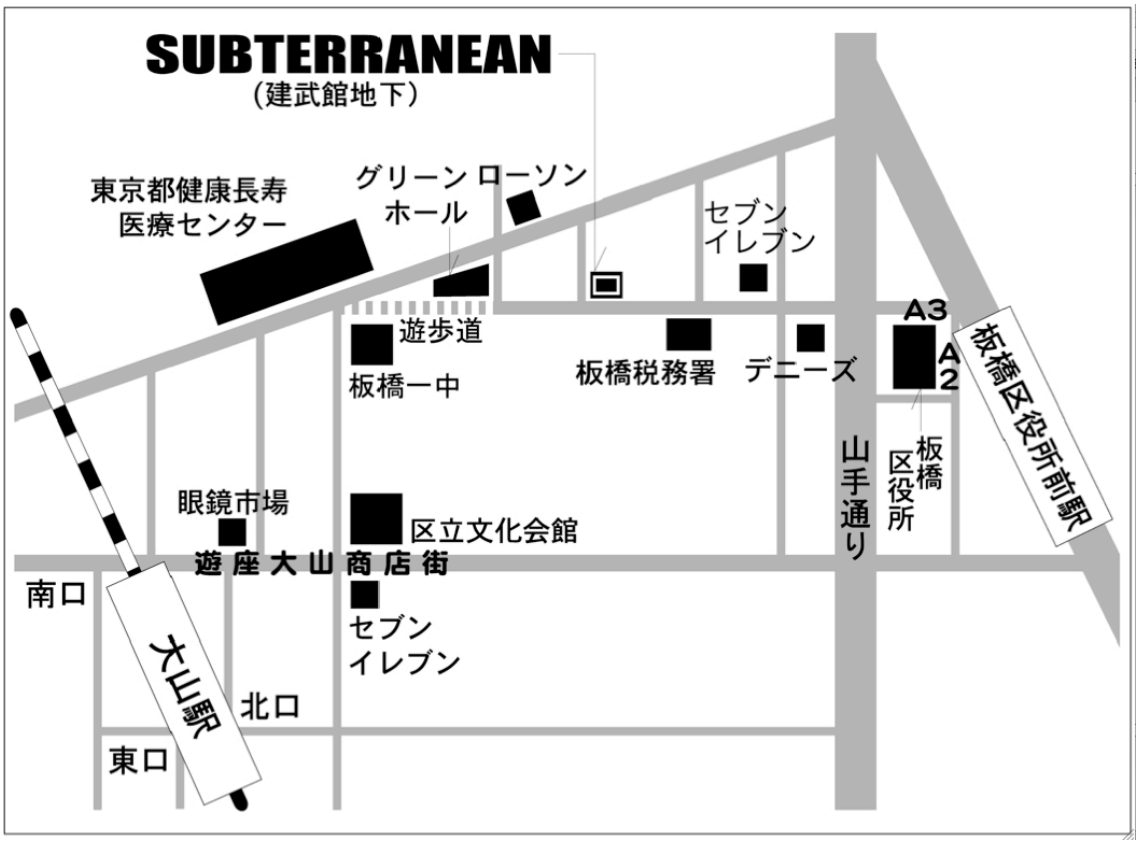
## お問い合わせ・アクセス

サブテレニアン
代表者：赤井康弘

住所：〒173-0013東京都板橋区氷川町46-4 B1F
TEL：080-4205-1050 （赤井）
E-MAIL：info@subterranean.jp

■大山駅よりお越しになる場合：
1.（南口から）南口を出たら右に進み、踏切を渡り、そのまま直進。
（東口から）東口を出たら駅の地下歩道をくぐり、北口前のファミリーマートの角を左に進み、突き当たりの眼鏡市場を右に曲がる。
2.遊座大山商店街を進み、板橋区文化会館とセブンイレブンのある交差点を左に曲がる。
3.大きな道路にぶつかる信号の手前で右に曲がり、遊歩道に入る。
4.遊歩道を過ぎ、左手に建武館というキックボクシングジムが現れたら、その建物の地下です。

■板橋区役所前駅からお越しになる場合
1.Ａ３出口を出て左に曲がる。
2.山手通り（上に首都高があります）を渡り、デニーズの右どなりの道を直進。
3.右手に建武館が現れたら建物をクルッとまわると、そこが入り口です。



# 板 橋 ビ ュ ー ネ 2 0 1 4 応 募 用 紙

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | フリガナ | |
| 団体名 | | 連絡先の<br>代表者名 | |
| 電話<br>番号 | （自宅）<br>（携帯） | | |
| 住所 | 〒 | | |
| メール<br>アドレス | | | |

応募動機、出展予定の作品概要、演出プラン等

提出資料についての説明（チラシ、映像など）

これまでの舞台作品・劇評・エッセイ・論文など（代表的なもの）

| 年月日 | 題名、会場、媒体名 | 内容 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

芸歴・活動履歴（簡単なもので構いません）

| 年月日 | 内容 |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

**締切：5月20日消印有効**